

特発性肺線維症急性増悪に対する各種治療の有効性:過去起点コホート研究

1. 研究の目的

特発性肺線維症急性増悪と診断され、入院加療を受けられた患者さんを対象に、各種治療方法の違いが予後にどのように影響するかを明らかにすることを目的とした研究です。

2. 研究期間

2019年10月2日より2021年8月31日まで

3. 調査期間

2016年1月1日から2019年2月28日

4. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

実施責任者

山本 洋介(京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療疫学分野)
研究主担当者・プロトコール制作責任者

阿南 圭祐(京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療疫学分野)

当院の研究責任者

川村 宏大(呼吸器内科 副部長)

5. 研究の方法

・対象となる患者様

上記期間中に、下記の医療機関で特発性肺線維症急性増悪の診断で入院加療された方

・利用または提供する資料・情報の項目

情報:病歴、治療歴、各種検査結果、転帰 等

試料:胸部 CT 画像

・研究に用いる資料・情報の利用目的・利用方法

電子カルテから患者さんの年齢、性別、入院時の検査結果、治療方法、胸部 CT 所見、予後データをデータとして使用させていただき、各種治療と予後の関係を調査します。CT 画像を CT 所見の読影のため関西労災病院、久留米大学放射線科および日本赤十字社医療センターへ提供します。読影後は破棄いたします。また対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

6. 個人情報の取り扱い

利用する情報から氏名や住所などの個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会や論文等で発表を予定していますが、その際も個人情報は利用しません。

7. 他の研究機関および各施設の研究責任者

共同研究者

片岡 裕貴 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療疫学分野,
兵庫県立尼崎総合医療センター 呼吸器内科

川村 宏大 済生会熊本病院 呼吸器内科

飛野 和則 飯塚病院 呼吸器内科

伊藤 博之 亀田総合病院 呼吸器内科

猪俣 稔 日本赤十字社医療センター 呼吸器内科

喜舎場 朝雄 沖縄県立中部病院 呼吸器内科

中村 孝人 星ヶ丘医療センター 呼吸器内科

担当者未定 神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科

※その他、複数の医療機関を選定中

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

済生会熊本病院 呼吸器内科 川村宏大

TEL 096-351-8000 (病院代表)

10. 備考

本研究は倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けています。

以上